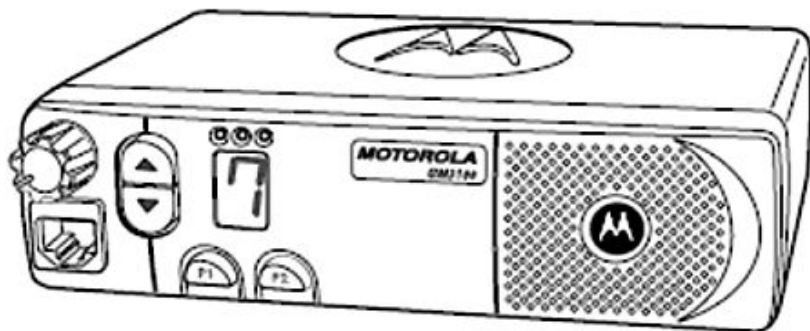
一般業務／複数波簡易無線対応
車載型無線機

GM3188

取扱説明書

GM3188 の詳細と価格は 無線機のトーワ 検索

http://www.towa-inc.net/
http://www.towa-inc.net/1f/5f/gm3188-o.htm
mail@towa-inc.net

モトローラ無線機 プレミアディーラー
株式会社トーワ

本 社
〒583-0991 大阪府南河内郡太子町春日98－362
tel 0721-98-1317 fax 0721-98-1373

日本橋ショウルーム
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4－17－9
tel 06-6632-5115 fax 06-6632-5110

コンピュータソフトウェア著作権

本書に掲載中のモトローラ社製品は、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムを、半導体メモリまたは他の媒体に搭載し、内蔵している場合があります。これらのコンピュータプログラムに関して、いかなる形式による複製・再生を含む（ただし、これらに限定されない）モトローラ社の排他的権利は、アメリカ合衆国および他の国の法律によって留保されています。モトローラ社の文書による許可なく、本書に掲載中のモトローラ社製品に含まれる、著作権で保護されたモトローラ社コンピュータプログラムの複製、再生、改作、リバースエンジニアリング、配布は、形式を問わず禁止されています。また、モトローラ社製品の販売において、法律により発生する通常の非排他的使用を除いて、明示的に、暗黙に、禁反言によるものその他を問わず、著作権、特許、または特許出願のいかなる使用も許諾されていません。

はじめに

このたびはモトローラの車載型無線機「GM3188」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書はGM3188の標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

●ご注意

・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行なうときはこのような制限はありません。
・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。

●本文中のマークの意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。
お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

安全上のご注意

製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射の適合

この無線機の使用は、アメリカ連邦通信委員会（FCC）の定めるRF（高周波）エネルギー照射の基準を満たす業務目的に限られています。
この無線機をご使用になるまえに、製品安全性およびRF（高周波）エネルギー照射に関する添付冊子に記載されているRF（高周波）エネルギー認知情報および操作説明を必ずお読みください。
モトローラ承認済みのアンテナ、バッテリー、およびその他のアクセサリー一覧については、承認済みアクセサリーを掲載している次のウェブサイトを参照してください。
http://www.motorola.com/cgiss/index.shtml.

◎ 異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に設置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

◎ 直射日光のあたる所や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

◎ 本機の取付け、配線は、お買い求めの販売店へご依頼ください。

◎ 接続端子に金属片等が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。

◎ 強い衝撃をあたえないでください。

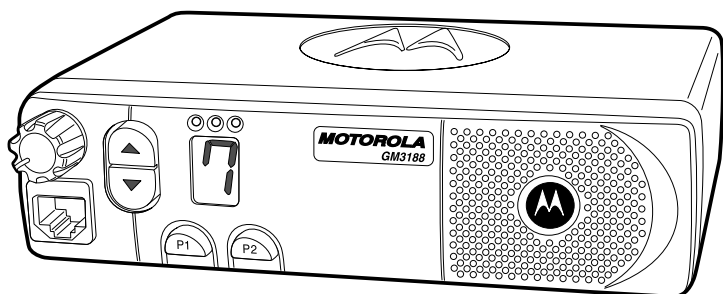
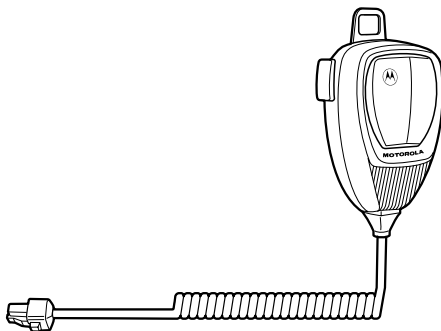
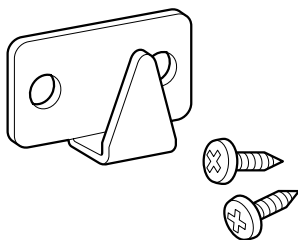
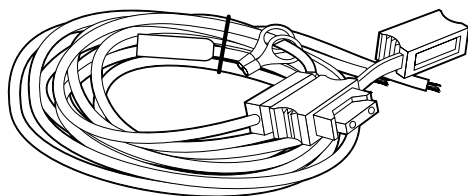
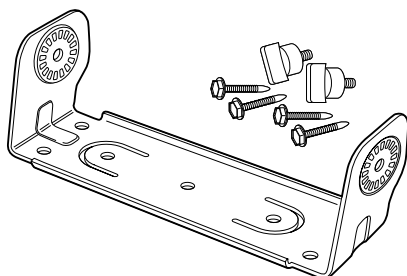
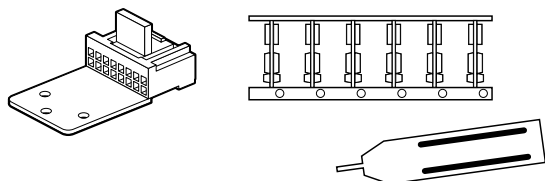
目次

応用機能

製品および付属品の確認

車載型無線機

はじめに無線機本体と付属品を確認してください。

●無線機本体

●マイク

●マイクハンガー

●ケーブル

●取付金具キット

●アクセサリーコネクタキット

●取扱説明書（本書）

各部の名称と機能

車載型無線機本体

電源／ボリュームつまみ

赤色／黄色／緑色LED表示部

表示部

スピーカ

MOTOROLA
GM3188

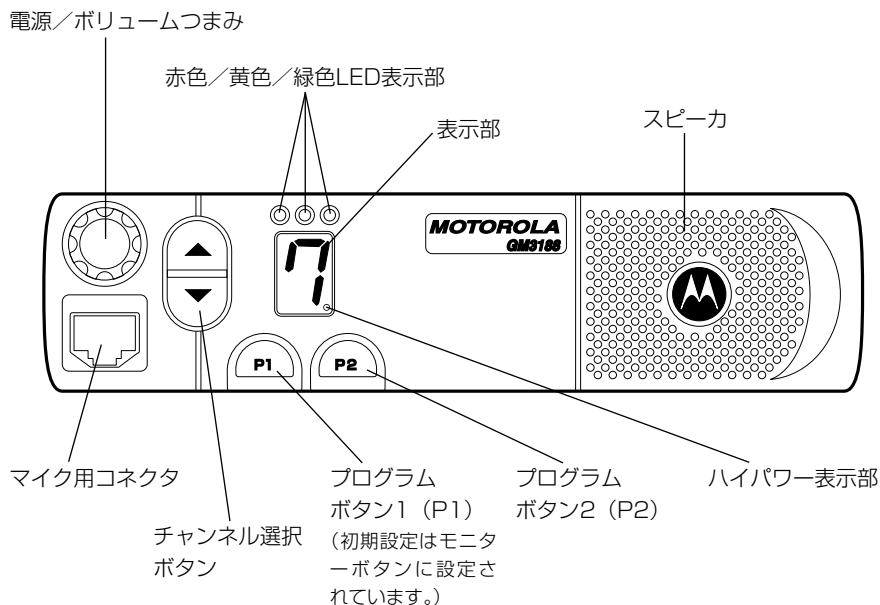
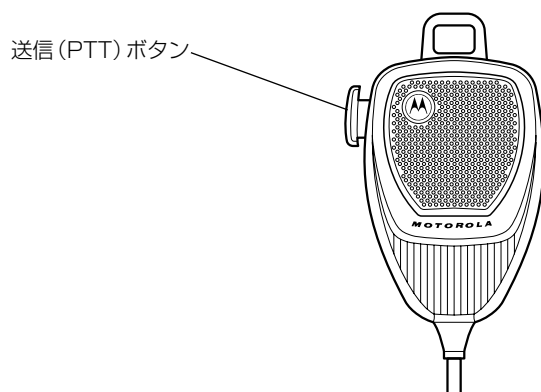
P1　P2

マイク用コネクタ

チャンネル選択ボタン

プログラムボタン1（P1）
（初期設定はモニターボタンに設定されています。）

プログラムボタン2（P2）

ハイパワー表示部

マイク

無線通信の基礎知識

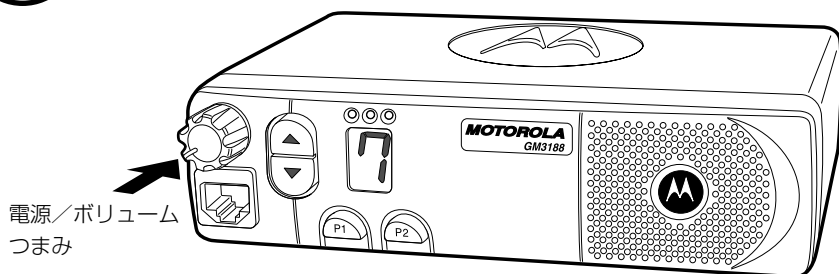
●トーンスケルチについて

トーンスケルチとは、音声信号と一緒に特定のトーン周波数を発信し、このトーン周波数を受信できるグループ内でのみ通信できるように、通信対象を限定する機能です。
トーンスケルチを使って通信すると、同一の周波数で運用されている他のグループとの混信を防ぐことができます。

●話中ランプ方式

話中ランプ方式とは、トーンスケルチを使用している無線グループにおいて、同一周波数で異なったグループの他局が通話しているかどうかを確認する方式の一つです。
話中ランプ方式が設定されている無線機では、異なったグループの他局が通信している時、LED表示部が赤色に点滅します。（話中ランプ）

工場出荷時は、話中ランプ方式で出荷されます。話中ランプ方式からマイクフック方式へ変更される場合はお買い求めの販売店までご相談ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源／ボリュームつまみを時計方向に回します。
セルフテスト終了の音（ピピッ）が出力され、緑色のLEDが一瞬点灯します。その後、チャンネルが表示されスタンバイの状態になります。

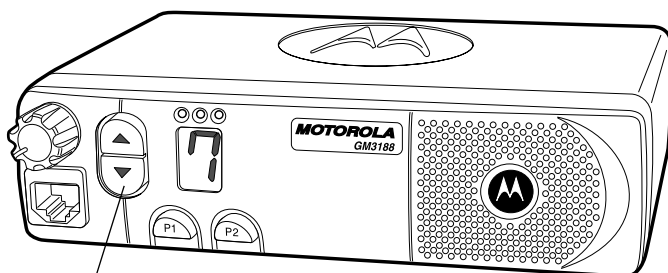
立ち上がりに異常が発生した場合は、“ブーー”音が出力されます。
この場合、もう一度電源を入れ直してください。

電源を切る

電源／ボリュームつまみを反時計方向に“カチッ”と音がするまで回します。LEDおよび表示部が消灯し、無線機の電源が切れます。

受信音声出力を調整する

電源／ボリュームつまみを時計方向に回すと音量が大きくなります。
電源／ボリュームつまみを反時計方向に回すと音量は小さくなります。

③ チャンネルを選択する

チャンネル選択ボタン ▲ （又は ▼ ）を押して希望するチャンネルに設定します。（最大8チャンネル）

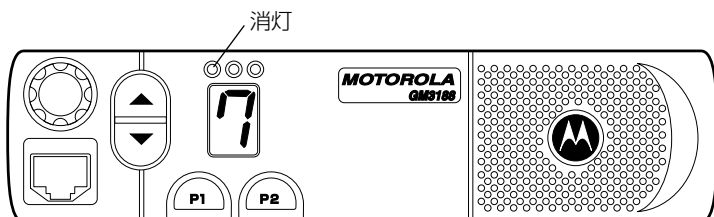
相手を呼び出す

同じ周波数／トーン信号に設定されているすべての無線機を呼び出します。

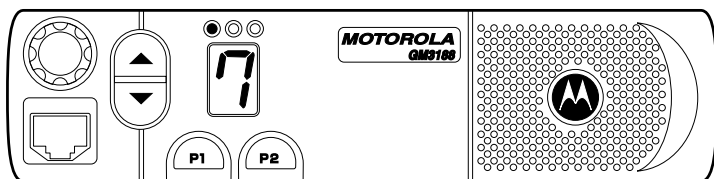
注意 呼び出すことができるのは、あらかじめ同じグループとして同じ周波数／トーン信号に設定されている無線機です。

補足 キャリアスケルチモデルでは、トーン信号は設定されていません。

LED表示部が消灯していることを確認します。

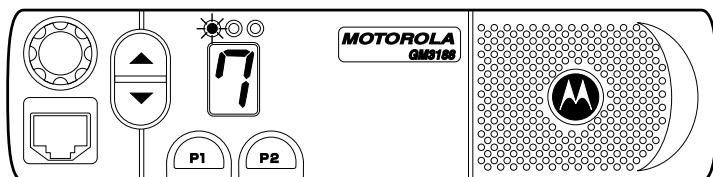
同一周波数を使用している他局が交信しているとLED表示部が赤色に点滅します。（話中ランプ方式）

注意 他局が交信しているときに送信すると混信の原因になり、他局の交信を妨害すると同時に自局も正確な交信ができなくなります。

＜送信ボタン＞を押して相手を呼び出し、通話します。

マイクの＜送信ボタン＞を押しながら話し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。送信中はLED表示部が赤く点灯します。

応答する

同じ周波数／トーン信号に設定されている無線機からの呼出しに応答できます。

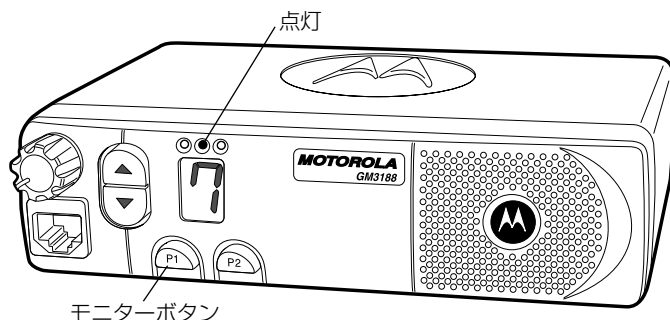
呼出しを受けると、相手の声が聞こえます。

受信中はLED表示部が赤く点滅します。

＜送信ボタン＞を押して相手を呼び出し、通話します。

マイクの＜送信ボタン＞を押しながら話し、ボタンから指を離して相手の話を聞きます。送信中はLED表示部が赤く点灯します。

トーンスケルチが設定されている場合、正規のトーン信号を受信しないとスピーカからは何も聞こえません。

モニター操作を行う

送信操作を行う前には必ず、通話するチャンネルで他の人が通話を行っていないことを確認する必要があります。

モニター用に設定されたプログラムボタン（P1）を短押しすると、“ピッ”音と共にLED表示部が黄色に点灯しモニターモードに設定されます。

この状態はモニターの解除操作を行うまで保持されます。

モニター状態を解除するには、再度モニターボタン（プログラムボタン）を押します。

“ピッ”音と共にLED表示部の黄色が消灯し無線機は通常のモードに戻ります。

無線機のスケルチを解除するには、モニターボタン（プログラムボタン）を“ピッ”音が聞こえるまで（1.5秒以上）押し続けます。

スケルチが解除されスピーカより雑音が出力されます。

スケルチが解除された場合にはLED表示部が黄色に点灯します。

通常モードに戻すには、モニターボタン（プログラムボタン）を短押しします。（LED表示部の黄色が消灯）

応用機能

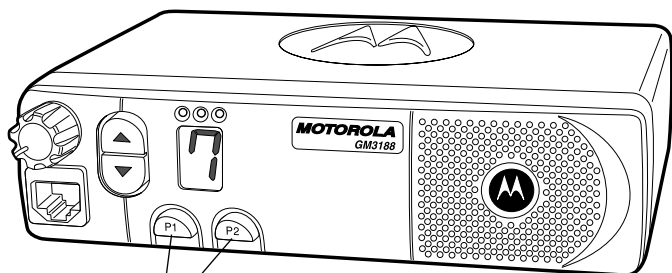
機能の設定または変更については、お求めの販売店までご相談ください。

目次

注意 取扱説明書中に、下記の 一般 または 簡易 表示がされている場合、その機能および操作はこの表示の種類の無線機に限定されます。

一般 ： 一般業務用無線機の場合に限られます。

簡易 ： 簡易業務用無線機の場合に限られます。

プログラムボタンを使う

プログラムボタン

無線機には二つのプログラムボタンがあります。販売店で、これらのボタンに各種機能のショートカットを設定することができます。ご使用の無線機がサポートしている機能については、お買い求めの販売店にご確認ください。

プログラムボタンには、 P1 と P2 の 2 種類があります。

これらのボタンは、押し方に応じて最大 2 種類の機能へショートカットができます。

＜ボタンの押しかた＞

- **短押し**
  プログラムボタンを短時間押す操作
- **長押し**
  プログラムボタンを一定時間押したままの状態にする操作（設定時間または初期設定の1.5秒間）
- **ホールド**
  状態確認または調整を行う間、プログラムボタンを押したままの状態にする操作

＜初期設定＞

P1

短押し：モニターオン／オフ、スケルチオン（解除停止）

長押し：スケルチ解除

P2

短押し：未設定

長押し：未設定

注） 長押し操作時の動作までの設定時間は1.5秒間です。

プログラムボタンに機能を設定した場合は、ボタン番号と押し方、機能名をあらかじめ控えておいてください。

プログラムボタンの機能

プログラムボタンを使って以下の設定された機能へのショートカットができます。

機　能	短　押　し	長　押　し
モニター*	モニター操作の切り換えを行います。 （スケルチ解除の場合はそれをオフします。）	スケルチ解除します。
スケルチ	ご使用の無線機のスケルチレベルを深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。	
出力レベル	ハイパワーとローパワーの切り換えを行います。 ハイパワー時には、ハイパワー表示部にドットが表示されます。 このドットはローパワー時には表示されません。*	
VOX機能 （音声による送信操作）	VOX機能のオンとオフを切り換えます。*	
チャンネルスキャン 一般	スキャンのオンとオフを切り換えます。	—

＊ ボタンの短押しまたは長押しのどちらでもこの機能を起動することができます。
＊ モニターについては、プログラムボタン（P1）に初期設定されています。

インジケータートーンの種類

ハイピッチトーン（ピッ音）　ローピッチトーン（ブー音）

（ピピッ）	セルフテスト正常
（ブー）	セルフテスト異常
（ピピッ）	ポジティブ インジケータトーン
（ピッ）	ネガティブ インジケータトーン

プログラムボタンを使用する場合、表示トーンは以下を表します。

ボタン	ポジティブ インジケータトーン	ネガティブ インジケータトーン
スケルチ	深い	標準
出力レベル	ハイパワー	ローパワー
VOX機能	VOX機能はオン	VOX機能はオフ
チャンネル スキャン　一般	スキャン開始	スキャン停止

スケルチレベルを設定する

スケルチ機能を使って無関係な（不要な）ノイズやバックグラウンドノイズを取り除くことができます。ただし、スケルチを深いレベルに設定すると、遠隔地からの通信も同じように排除される可能性があります。このような場合、スケルチを標準レベルに設定することをお薦めします。あらかじめスケルチレベル選択用に設定したボタンを押して、スケルチの設定を深いレベルまたは標準レベルに切り換えます。

出力レベルを設定する

無線機の各チャンネルの送信出力レベルはあらかじめ設定されています。この設定を以下のように選択することができます。

・ ハイパワー
・ ローパワー

出力レベルを設定するには、あらかじめ出力レベル選択用に設定したボタンを押して、ハイパワーまたはローパワーに切り換えます。ハイパワー時には、ハイパワー表示部にドットが表示されます。

注意 **出力レベル選択を行う場合は、それぞれの出力の免許が必要となります。**

VOX機能を使う

ハンズフリー操作をおこなう場合、無線機に接続されている音声操作用の外付けマイクロホンを通して、VOX機能により音声だけで無線機から送信をおこなうことができます。

あらかじめVOX機能選択用に設定したボタンを押して、VOX機能を有効にします。

送信（PTT）ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。

VOX機能用に設定したチャンネルを選択してVOX機能を有効にします。

・ VOX機能ボタンを押す必要はありません。
・ 送信（PTT）ボタンを押すと、VOX機能は無効になります。

VOX機能用チャンネル以外のチャンネルを選択してVOX機能を無効にします。

チャンネルスキャンを行う

複数のチャンネルをモニターしてそれらのチャンネルからの呼び出しを受信することができます。お買い求めの販売店に、スキャンリストへのチャンネル設定をご依頼ください。スキャンリストに設定されているチャンネル上で受信（通話）を検出すると、無線機は自動的にそのチャンネルに切り換ります。

スキャンの開始と停止

スキャン動作中、LED表示部が緑色に点滅します。スキャンが設定されていないチャンネルに切り換えると、LED表示部の点滅は止まります。以下の手順でスキャンを開始または停止します：

あらかじめスキャン用機能選択に設定したプログラムボタンを押してスキャン動作を開始します。

または

オートスキャン用に設定したチャンネルを選択し、オートスキャンを開始します。

スキャンを設定したプログラムボタンを押す必要はありません。

オートスキャン用に設定したチャンネル以外のチャンネルを選択してスキャンを停止します。

応答する

スキャン中に通話に応答することができます。スキャン中に通話がチャンネル上で検出されると、無線機はあらかじめ設定された時間（ハングタイム）だけそのチャンネルに止まります。このハングタイム中に、送信（PTT）ボタンを押して応答することができます。

注意 通話が止むか、または設定時間内に送信（PTT）ボタンを押さなかった場合に、無線機はスキャンを再開します。無線機がハングタイムにある間、スキャンを示すLED表示部の緑色は点滅しません。

無線機の呼び出し

個別呼び出しの受信

個別呼び出しを受信した場合：

・ LED表示部が黄色に点滅します。

・ ハイピッチトーンが 2 回聞こえます。（ピピッ）

送信（PTT）ボタンを押して応答します。

鳴音呼び出しの受信

鳴音呼び出しを受信した場合：

・ LED表示部が黄色に点滅します。

・ ハイピッチトーンが 4 回聞こえます。（ピピピピッ）

送信（PTT）ボタンを押して応答します。呼び出しをキャンセルする場合、送信（PTT）ボタン以外のボタンを押します。

アフターサービスについて

無線機は定期的に、お買い上げの販売店で点検されることをおすすめします。

（1）保証期間について

無線機本体

保証期間は、お客様が運用を開始された日より2年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですが、お買い上げの販売店へご連絡ください。修理規定に基づき、無償で修理いたします。

（2）保証期間経過後の修理

お買い求めの販売店にて修理（有料）いたしますのでご相談ください。

お買い求めの販売店をご記入ください。
お客様が保証をお受けになる重要な窓口です。必ずご記入ください。

ご購入日　　　年　　月　　日

製品およびアクセサリ等についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

MOTOROLA

モトローラ・ビジネスユニット

カタログ等のお問い合わせは、
モトローラ・カスタマーセンターへ　0120-549-533
ホームページ……http://motorola-bizunit.jp

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

発行元　株式会社スタンダード　東京都目黒区中目黒4-8-8

6815164H01-B

JM-1